

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	百貨店（営業担当）	・全体的に商品の動きは好転している。新規来客数が多く、街の人出も多くなっている。
		観光名所（職員）	・建物の改修工事が終了し、観光客の入場者数が再び増加する。
	変わらない	百貨店（売場担当）	・一般消費者の所得は伸びておらず、購買意欲に欠け、財布のひもは堅い。
		スーパー（財務担当）	・例年に比べて暖かい日が続き、鍋物の売行きが悪い。このまま気温が下がらないと12月商戦が心配である。
		スーパー（予算担当）	・今年は暖冬の予測があり、1月までは寒さが期待できない。ただ、10月・11月と比較すると気温は下がっていくので、冬物の販売も進んでいく。好要因としては、新型ゲーム機の販売があり、ソフトと合わせて販売量は伸びる。
		衣料品専門店（経営者）	・前年に比べて客単価は変わらないが、来客数、買上客数が1割程度落ち込んでおり、やはり暖冬により売上が伸び悩む。
		乗用車販売店（従業員）	・特に良くなる理由が見当たらない。
		乗用車販売店（従業員）	・新車販売台数が今後伸びる要素は少ない。
		乗用車販売店（営業担当）	・2、3か月前には、新型が出てくるので良くなるという見方をしてきたが、実際に新型が出て、今、前年割れを起こしているところを見ると、今後も良くなるような要素はない。
		乗用車販売店（管理担当）	・個人の所得は増えていないので、需要の増加が見られない。
		住関連専門店（経営者）	・販売量が期待しているほど伸びない。
		一般レストラン（経営者）	・夜の来客数が少ない上、同業種の店舗が増え苦戦を強いられている。
		都市型ホテル（経営者）	・来客数・予約・単価の動き、共に低調である。このまま景気が良くなっても、若干弱含みで進んでいく。
		通信会社（支店長）	・クリスマス・ボーナス商戦で単発的な動きは期待できるが、大きく好転しそうな材料が無い。
		美容室（経営者）	・良くなる見通しが立たない。
	設計事務所（職員）	・業者間競争は大きな変化もなく、継続する。仕事量も大きな増加が望めず、例年並み又は例年よりやや減の範囲にとどまる。	
	その他住宅（住宅ローンセンター）	・景気好転の予兆が感じられない。	
	その他住宅（住宅ローンセンター）	・中央の景気が回復しても、地方へその効果が波及するには結構な時間のラグがある。急激な変化やそのきっかけが発生すれば何かしらの変化があるだろうが、その予兆も感じられない。自分の周辺の様子から考えても数か月でどうなるものではない。	
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・商店街近くで行われたイベントも1月上旬で終わるということで、なかなか明るい話題がない。冬物の出足も非常に悪く、これが今後の景気にも影響してくる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・近くに大型ショッピングセンターができる予定であり、かなり苦戦しそうである。
美容室（経営者）		・景気回復の兆しとの報道が多いが、地方ではまだまだ厳しい状況が続く。	
悪くなる	スーパー（店長）	・寒くないので冬物がほとんど売れない。また、いろいろなものの相場が上がってきており、例えばマグロなどは前年比30%以上の値上げになって非常に売行きが悪くなっており、今後も期待が持てない。	
	衣料品専門店（経営者）	・来客数が減ってきている。	
	設計事務所（所長）	・マンション業者の倒産や、設計のダンピング等が起きている。	
企業 動向 関連	良くなる	－	－
	やや良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・3か月先まではかなり受注がある。今も、案件は例年より多く、また他社にも同様の動きがあると聞いている。設備投資は盛んであり、3か月先はより盛んになる。

	通信業（営業担当）	・年末年始を控え、客への営業活動をする中で、個人が例年より早い時期から消費に動いていると強く感じる。	
	不動産業（経営者）	・建設会社・ゼネコンから、支店・店舗を探してほしいというオファーが増えている。設備投資意欲が少し強くなっているようである。	
	広告代理店（経営者）	・大都市圏だけでなく、地方でもある程度受注が増え始めた。ただし、単価はまだ低く、急激に業績に影響を及ぼすことはない。	
変わらない	食料品製造業（従業員）	・2月に春の新商品が出るので、それに期待する。	
	繊維工業（経営者）	・繊維業界で、消費を押し上げる特別な要因は見られない。	
	木材木製品製造業（経営者）	・販売量に関しては、原材料費が上昇してきているので、若干駆け込み需要がある。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・油圧クレーンの総需要は、20か月連続で前年を上回っており、一部の地域（北海道・東北）を除いてはクレーンの稼働率は堅調で、当面の間この状況に変化は無い。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・年度末に向けての商談が多く、全般に堅調である。	
	建設業（経営者）	・良い方向へ変わる要素がない。	
	輸送業（役員）	・燃料価格の高騰も一段落した。またボーナス水準も昨年を上回り、一般消費も例年より活発化する。	
	金融業（融資担当）	・県内の主要産業である土木建設業については、公共工事の減少から底の状態が続いている。また、小売業においても、賃下げ等による消費の低迷から振るわず、今後も厳しい状態が続く。	
	広告代理店（経営者）	・商店街再開発事業の一部完成等の明るい話題もあるが、多くの得意先では現状維持あるいは広告費削減の話が多く、結果として変わらない。	
	公認会計士	・経営者達は景気の先行きに不安を持っており、不動産投資を控えている。設備投資についても様子を見てという話が非常に増えてきていることから、景気は若干下向きになりつつある。	
やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・価格下落が一段と激しくなっている。	
	輸送業（支店長）	・燃料価格が一時的にわずかに下がったが、年末にかけて再上昇の気配もあり、年明けにそれが現実になれば例年に増して物量の反落も予想されるので楽観はできない。	
	通信業（支店長）	・番号ポータビリティの特需が徐々に薄れてくる。	
	悪くなる	—	—
雇用関連	良くなる	—	—
	やや良くなる	—	—
変わらない	人材派遣会社（支店長）	・企業の積極的採用が増えている。紹介予定派遣も増えている。	
	人材派遣会社（支店長）	・販売系の求人は増えているが、事務系の求人は減っている。	
	職業安定所（職員）	・新規求人数の伸びが最近になって鈍っており、しばらくはこの傾向が続くため、3か月先も景気はあまり変わらない。	
	民間職業紹介機関（所長）	・地方では、まだまだ景気の回復を感じる企業は少なく、今冬の賞与についても前年並みの支給であるという企業が多い。	
	学校〔大学〕（就職担当）	・補充のための採用という程度の動きしか見られず、大きな変動は期待できない。	
やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・明るい兆しや情報が全くない。冬のボーナスが出たところで目減りしており、消費には結び付かない。	
悪くなる	—	—	